

文祿二年、徙テ廣島ニ治ス、關原ノ役、西軍ニ屬シ、敗後降ヲ乞フ、徳川氏其封疆ヲ削リ、更メテ長門周防ヲ賜ヒ、福島正則ヲ本州ニ封ズ、元和中、罪アリ、國除シ、淺野長晟代テ封セラレ、廣島ニ治シ、世襲、王政革新、廢シテ廣島縣ヲ置、

〔先代舊事本紀十國造〕阿岐國造

志賀高穴穗朝○成 天湯津彥命五世孫飽速玉命定賜國造

〔續日本紀八元正〕養老四年十月戊子、從五位上忍海連人成爲安木守、

〔尊卑分脈十二源氏〕信義武田 信光承久亂之時、賜安藝國守護職了

〔倭名類聚抄五國郡〕安藝國國府在安藝郡、行程上十四日、下七日

〔拾芥抄中末本朝國郡〕安藝○中 安藝府

〔藝備國郡志上安藝祠廟〕八幡 在安南郡、此地古之安藝國府也、故俗稱國府八幡、

〔藝藩通志一安藝〕國府

安藝國府は今の安藝郡府中村是なり、○中 本藩毛利氏の舊に仍りて廣島に府を開く、故府を距ること一里許、亦要衝の地なり、

〔安西軍策一〕惠林院義植卿頼大内義興事

永正三年十一月二十六日、義植卿○足 山口ヲ打出給ニ、大内○義 興ハ防長豊筑ノ軍兵二萬餘騎ヲ

相隨安藝國府ニ著給フ、

〔嚴島道芝記五〕田所屋敷

安藝郡府中にあり、國府上卿三宅氏は也、○中 延喜帝の御宇、中納言藤原助隆卿を定勅となし、安

藝國府を領してこれを上卿とす、代々府中に居住せり、田所は是を繼とも云傳ふ、又國府は九條殿舊領なりしとかや、

國府